



しがレクからのおたより



令和5年度 第2号 2023.9発行

滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行

送信・返信先 〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方

令和5年度 滋賀県レクリエーション大会

令和5年度滋賀県レクリエーション中央大会は、11月7日（火）に野洲市のマイアミ浜にて開催いたします。内容は、マレットゴルフになります。今回は、滋賀県マレットゴルフ協会の協力を得て、競技の体験および観戦をしていただきます。マレットゴルフは、年齢や体力の有無に関わらず初心者でも楽しめるゲームですので、ぜひご参加ください。

詳しくは同封されたチラシをご覧ください。

1. 日時 令和5年11月7日（火） 小雨決行（予備日11月14日）
2. 場所 野洲市マイアミ浜 マレットゴルフコース
3. 日程 第1部 開会式 午前9時30分 功労者表彰
第2部 体験会 午前10時～12時
4. 参加費 無料

広報部より SNS の利用について

昨年より広報部の試みとして新たな発信にチャレンジしています。情報の発信は「Twitter」「Instagram」「Facebook」の SNS を利用して行われています。発信内容は、レクリエーション大会に関連することや滋賀県レクリエーション協会が行っている「レクリエーション・インストラクター養成講座」の活動内容報告、レクリエーション活動の紹介、また学生たちが企画・運営したイベントなどがあります。

皆さんもスマートフォンからアプリをダウンロードしてぜひフォローしてください。

また、質問やリクエストなどあれば、気軽にお問い合わせください。

twitter ID
Shiga_rec

Instagram ID
shiga_rec

Facebook ID
滋賀レク



全国レクリエーション大会 参加報告



9月15日から17日に徳島県において開催された第77回全国レクリエーション大会に広報部のメンバーが参加してきました。総合開会式は、オープニングでスポーツチャンバラ演武が行われ、次に全国レクリエーション大会実行委員会会長岡山千賀子氏らによって大会旗の入場が行われ、大会の幕開けとなりました。その後、会長や来賓による挨拶や歓迎の言葉をいただき、レクリエーション運動普及振興功労者表彰が行われました。ABO60(阿南ベースボー

ルおばちゃん60歳以上)によるチアダンスの披露や徳島エンジェル楽団・徳島大学交響楽団による演奏、娯茶平による阿波踊りなどが披露されました。

開会式の後、徳島グランヴィリオホテルにて「交歓のタベ」が催され、全国のレクリエーション関係者が集まり、これから行われる研究フォーラムや種目別大会に向けて食事や歓談をしながら交友を深めた機会となりました。会では、本場の阿波踊り連による阿波踊りの披露が始まりました。まず演者たちが見本を示し、その後は参加者たちもリズムに合わせて踊り楽しみました。



16日から徳島文理大学で行われた研究フォーラムでは、まず、セッション15「伝統文化に触れて楽しもう～阿波人形浄瑠璃の魅力～」に参加し、人形浄瑠璃の魅力を知り、伝統文化を学びました。ワークショップでは、人形の歩き方や座り方、役ごとの泣き方や動作の違いなどを教えていただきました。人形の年齢や性別などの設定の違いでこれほどまでに動かし方や表情が変わってくるのだとわかりました。

YouTube や SNS などを活用したセッションもあり、セッション24「～YouTubeで新たな形のレク財普及事業の展開～」では、SNSの著作権について講義方式で学びました。ダンスには音楽が不可欠です。しかし、ダンス動画をインターネットにあげるには法律上の制限があり、著作隣接権と言います。一方、YouTube や流行りの TikTok では音楽著作権協会と協定を結んでいるため、音楽が使えるそうです。



セッション23「レクソングはアカペラで～いつでもどこでも出来るレクソングを学ぶ～」では、人々が道具なしで楽しむことが出来るアカペラのレクソングを紹介して頂きました。一般的な



アカペラとこのセッションで紹介されたアカペラにはいくつか相違点がありました。1つ目は、周りの人たちと向かいあって手を合わせて歌う場面がありゲーム的要素も取り込んでいました。それによって、周囲の人と自然にコミュニケーションをとることができました。2つ目は、正しいリズムや音程で歌うことよりも曲の世界観を意識し、楽しく歌うことを重要視されていました。その結果、会場全体で一体感をより感じました。



セッション4「サウンド・エデュケーション～世界は音であふれている！「聞こえる」から「聴く」耳へ～」では、音を「聴くこと」の楽しさについて学びました。好きな音楽や、日常生活で感じる音、季節によって異なる音など世界は様々な音で溢れています。これらの音を普段私たちは、何気なく「聞いている」かもしれませんが、しかし、この研究フォーラムでは、「聞く」から「聴く」ことを意識づけ様々なワークを通して音を聴くこ

とを体験しました。

セッション19「～阿波和紙で作るきらきらランタン～」では、色とりどりの阿波和紙等を使ってのきらきらランタンの作り方を学びました。阿波和紙は、手すきならではの肌触りと生成の風合い、そして薄くても水に強く、破れにくい丈夫な紙質です。きれいな色とりどりの阿波和紙を張り合わせるとともにLEDライトを使い、ほんのりとしたやさしい光のランタンが出来上がります。

1時間という短い講習時間の中でしたが、参加者たちは「MYきらきらランタン」を無事に作り上げ、今大会の講習プログラムをすべて終えました。



私たちはこの大会を通して、レクリエーションの2つの魅力に気づくことができました。

1つ目の魅力は「初対面の人とでも自然に話せるようになること」です。様々なセッションに参加した私たちは今大会が終わる頃、知らず知らずのうちに全国各地のいろんな方とお話できるようになっていました。レクリエーションは新たな出会いをサポートしてくれる、そんな魅力があるのだと身をもって実感しました。2つ目の魅力は「多種多様だからどんな人でも楽しめること」です。今大会では他にも若年層向けから高齢層向け、スポーツ好きから文化好き向けなどの多種多様なセッションが開催されていました。このように多種多様だからこそ、誰もが、いつでもどこでも誰とでも行うことができるというのはレクリエーションの大きな魅力だと感じました。

今大会は参加者のほとんどを高齢者が占めているように感じましたが、これらの魅力を実感した今、レクリエーションは社会で活躍する若い世代も注目するべきだと思います。新しい出会いの場で、うまくいっていない集団内で、レクリエーションを行うことで団結力が生まれ集団として成長できると思います。

また、「初対面の人とでも自然に話せるようになる」「どんな人でも楽しめる」そんな魅力を持つレクリエーションが普及すれば、いじめや高齢社会による要介護者の増加、日本の過度な男女格差などの社会問題も解決に一步近づくとっても過言ではないと思います。

レクリエーションによる世界平和を目指し、みなさんも全国レクリエーション大会に参加してみませんか？

(広報部 レク龍プロジェクト)

令和5年度 第1回フォローアップセミナー

6月11日 場所：長浜伊香ツインアリーナ

あい

ました。

会員限定記事

カ

最

向け

て投げ、ボールがラダーに引っかかる（ハングする）と得点になるゲームです。3本あるラダーには、下から1・2・3とポイントが表示されていて、ラダーにハングしたボール数×表示されたポイントの合計でピッタリ21点先取したプレイヤーが勝者となります。ただし、投げたボールが床にバウンドして3本あるいずれかのラダーにハングした場合は、ハングしたボール数×5ポイントとなります。初めはすっぽ抜けたり、引っかかったボールが一回転して落ちたりとなかなかハングしなかったのですが、回を追うごとに確実にハングされる方々も出てきて、バウンドを狙って成功するまでに上達されました。

終わる頃には雨も上がり、心地よい疲労感と満足した気持ちでいっぱいでした。参加人数が6名と少し寂しかったのですが、充実した時間を体験できるフォローアップセミナーへの参加を、多くの方々にお勧めしたいです。

(西條 智晴)